

2024年(令和6年)

春増刊号

季刊(年4回)発行



たまがわっこニュース

保育園特集号

玉川地区
コミュニティスクール

発行者

玉川地区コミュニティスクール
(玉川コミュニティセンター内)
Tel.0266-71-1605
Mail:tamagawa.bo@city.chino.lg.jp

2024・2・20
玉川保育園

こんにちは。玉川保育園です。

玉川保育園のキーワードは、「元気もりもり笑顔でつながる保育園」です。

~~~~手をつなぎ挨拶を交し合いぎゅっと抱きしめ~~~~

笑顔の輪が広がる保育園づくりを目指しています。

2月20日に地域交流「コスモスの会」ありがとうの会を行いました。

一年間野菜の苗植え収穫、味噌づくり、焼いも会、蕪玉づくりのお手伝いに来ていただき、園児からありがとうの気持ちを込めて、歌や手遊びのプレゼントをしました。地域の皆さんに見守られ、支えられ、すくすくと成長している子ども達です。

ちゅうりっぷ・たんぽぽ・すみれ組（3歳児）が  
「Head, Shoulders, Knees and Clap!」  
の手遊びを披露してくれました



2024/02/20

うさぎ・もも・うめ組（0・1・2歳児）が  
「魚がはねて」の手遊びを披露してくれました

すずらん・ひまわり組（4歳児）が  
跳び箱を飛び、一人ずつポーズ！



2024/02/20

ばら・ゆり組（5歳児）は  
『一年生になったら』を三番まで元気に合唱  
「いっぱい手伝ってくれて、いろんなことを教えてくれて  
ありがとうございました！」



2024/02/20



# < ありがとうの会 >

地域のみなさん  
おじいちゃん おばあちゃん  
「いつも、ありがとうございます。  
4月からも よろしくお願いします。」



☆季節を通してごっこ遊びを楽しんでいます。子どもたちとどんな遊びをしたいのか考え、みんなで遊ぶものも製作します。子どもたちのアイデアはすごいな～いつも思います。



☆お世話になった地域の方々に感謝の気持ちを込めて、『ありがとうの会』を行いました。様々なコーナーで子どもたちと一緒に楽しんだり、園の様子を感じていただくことができました。ありがとうの会では、年長さんからの歌のプレゼントをしました。子どもたちの成長を喜び合う時間となり嬉しい時間となりました。



☆地域の方々には保育園のこと子どもたちのことを、いつも温かく見守ってくださり感謝しています。これからも畑のこと、行事の由来など、いろいろなことを教えてください。温かな触れ合いを楽しみにしています。



ふゆの  
ごっこあそび  
あれこれ  
We're all good friends

今年度をふりかえって

今年度は、コロナの間縮小されていた外部の人たちとの交流が再開され、様々な外部の方と交流することができ、子どもたちにとって良い刺激となった一年でした。

四月の主任児童委員、民生児童委員、更生保護女性会の皆さんの保育ボランティアに始まり、おひさま応援隊の皆さんとのサツマイモの栽培、年長さんの小泉山登山等、地域の皆さんにたくさん支えていただきました。また、玉川小学校や東部中学校の生徒さんとの交流では、大きなお兄さんお姉さんのやさしさに触れ、自分たちも大きくなったらこうなりたいという憧れの気持ちを抱くことができました。地域の皆様、ありがとうございます。来年度もよろしくお願ひいたします。

玉川どんぐり保育園 園長 鳥羽早苗



夢科ポニー牧場のポニーさんとの触れ合い

おひさま応援隊の方と苗植え体験・やきいも会



年長さんの小泉山登山！！



読み聞かせボランティアの方とのお話会



東部中家庭科実習でお兄さんと

# 子育て交流会が開催されました

一月三十日（火）、玉川地区子育て部会主催の「子育て交流会」が玉川コミュニティセンターで開催されました。「たまがわっこ」への褒めの言葉を沢山いただきました。また、出席いただいた方々から、今後について、「挨拶でもっと繋がろう」「きつかけづくりをして交流したい」「地域の高齢化も考えなければ」「子どもたちと発信していきたい」などのご意見ご感想をいただきました。みなさんから伺ったお話をもとに、地域・学校・保育園や子どもたち・保護者のみなさんと共に、素晴らしい将来をつくるための一歩一歩を、楽しく・確実に歩いて行こうと思いを新たにいたしました。

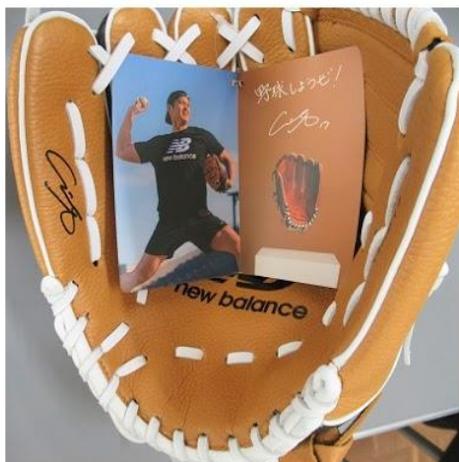


ご出席者からは様々な活動の発表がありました

## 編集後記

今年度は、各保育園、小学校、中学校および各地域におきまして、コロナウイルスの影響をあまり受けることなく、様々な行事、イベントが開催されてきています。去る一月三十日（火）には地域の子育てに関わる関係者が集まって「子育て交流会」も上記の写真のように行われました。また学校を取り巻くコミュニティスクールについても「まどめの会」が多くの先生方、関係者が集って行われています。係者が集って行われる子どもの健やかな成長を願っての活動ですから、良し悪しを問うのではなく、取り入れたい点は参考にし、また活動の中で難しかった点は修正をかけていくためのアイデアをいただけたのではないかと思います。コロナ禍を経験したあとのコミュニティスクール活動を考えるうえで有意義な時間を持つたと感じております。

（責任編集 伊藤）



「大谷グローブ」が玉川小学校にも「キター！！」